

第3回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録

○日 時 令和4年10月17日（月） 19時00分～19時41分

○場 所 南下浦市民センター 講堂

○次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 審議事項

議 案

1 令和4年度第2回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）
会議録の承認について

(2) 意見交換

1 保護者向けアンケートの分析について

2 市民向けアンケートの集計結果について

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（17名）

委員 小清水宣雄	委員 札内尚	委員 五十嵐徹
委員 山田光雄	委員 香山賢一郎	委員 柴谷肇
委員 川名大介	委員 前山裕治	委員 伊藤修也
委員 小川哲男	委員 宮坂和彦	委員 鈴木伸一
委員 鈴木隆之	委員 石井宏明	委員 水越翔野
委員 中澤謙介	委員 武内千恵子	

○欠席委員（6名）

座長 市川昌樹	委員 青木広美	委員 出口悟
委員 高橋伸昌	委員 中原慎一	委員 藤崎誠三

○事務局（6名）

教育部長	増井直樹	教育総務課長	塚本孝治
学校教育課長	高梨真一	教育環境担当課長	ソリバン薫
政策部政策課長	矢尾板昌克	教育総務課 GL	浦西伸一

◇座長　こんばんは。定刻になりましたのでただいまより令和4年度第3回「三崎地区・南下浦地区合同の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

事前に座長の市川さん、青木委員、出口委員、高橋委員、藤崎委員、中原委員より欠席の連絡がございましたので御報告申し上げます。

本日座長に代わりまして代理を三崎中学校小清水が務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

それでは早速議事に入りたいと思います。

はじめに議案1「令和4年度第2回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録の承認について」を議題といたします。

会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまの御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任とするということについて御承認いただきたいと思っております。

修正等の御意見あれば御発言をお願いできますでしょうか。

（発言等なし）

よろしいでしょうか。

なければ、お諮りいたします。議案1「令和4年度第2回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについて御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。御異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長　続きまして、意見交換に入りたいと思います。

まず保護者向けアンケートの分析について、事務局より説明をお願いいたします。

◇事務局　それでは資料2を御覧ください。

こちらは、今年6月に実施いたしました保護者向けアンケート、前回までに単純集計の結果については皆さんにお示ししていたところですが、具体的にどうだったのかということ言葉を表現しているものになります。見てのとおりとなっておりますが、ざっと説明をいたします。

小学校の教育に重要視するもの、これについてはこの四角の枠の中の「基礎的・基本的な学力を伸ばす教育」、「自尊心や思いやりなどの心を育てる教育」、「社会性やコミュニケーション能力を伸ばす教育」、「マナーや社会のルールを身に付けさせる教育」この4つがかなりの支持をいただいたということになります。

確かな学力を身に付け、さらに多くの子ども達が関わり合いから培われる力の教育を望んでいるということが考えられます。

それでは次に、どの程度の学級数が必要かというところですが、望む教育を達成するために必要な学級数を聞きました。

これにつきましては、学年1～2学級（全校7～11学級）今よりも多い学級が良いとする答えが32.5%、続いて全学年複数学級が24.1%、それから1学年複数学級が良いと考えているが、統廃合には反対するというのが16.9%となりましたので、今よりも大きな規模を望んでいるという捉え方をすると73.5%という結果を得ることができたと考えています。

続いて、1学年複数学級が良いと考えるが、統廃合には反対する理由として、通学路の安全性が心配という答えが46%、通学の安全確保が明確になってきたのかなと考えております。

続いて、仮に統廃合する場合の手法についても聞いております。

こちらについては、児童数が少ない複式学級が見込まれる学校から段階的に統廃合を進めるという回答をした保護者の方が65%、多くの方が少ないところからやっていったほうが良いのではないかとということで回答されています。

続いて、1学級あたりの児童数についてこちらについては、21人～30人が66%で教職員のアンケートと同様の答えが出ています。

続きまして、課題への対応ですが、⑥のところ登下校の安全策、スクールバスの運行や警察連携等を講ずるということを選択した方が47%、約半数いられたということです。具体的な対策を講ずることを望んでいるということが分かったということになります。

学校教育以外のところは説明を割愛いたしまして、最後にまとめの4つの点になりますが、1つ目、保護者については、確かな学力を身に付けるとともに、多くの子ども達が関わり合いながら培われる力の育成を求めている。

そして、2つ目、基本的には多くの児童と一緒に学びお互いに高め合える環境が望ましいと考える方が多かったです。

3つ目、小学校を統廃合する場合には一気に進めるのではなく緩やかに進めていくことが望ましいという考えが多かったです。

最後に、通学の安全確保が最大の課題であり、スクールバスの運行を望む声が自由記述でも非常に多かったという結果になっています。

資料2ではこのような見解ということでお示ししましたので、地域協議会の皆さまには、これらについてこういう見方ができるのではないかとか、その他の御意見がございましたら本日伺いたいと思います。

説明は以上です。

◇座長 説明は終わりました。

御質問等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

◇委員 保護者が一番心配している登下校の安全策というところでスクールバスとか出ていますけれども、これ一番最初に教育ビジョンを見直しをしたときの原因にもなっているんですよね。皆さん父兄からの反対だとか、そのときに検討しますというお話だったんですけれども、それがどのくらい進んでいるのでしょうか。

◇座長 スクールバスの進捗状況ですね、事務局いかがでしょうか。

◇事務局 スクールバスにつきましては、もちろん教育ビジョンの見直しと同時進行しているんですけれども、バス事業者とも運行についての基本的な路線ですとか、実際に可能かどうかとか、そういうところにつきましてバス事業者、数社と接触をもちまして検討を進めているところです。

◇事務局 もう少し突っ込んだお話を差し上げたほうがよろしいかと思しますので、前回の市議会での議論の中でも統廃合に関係なく全市的な課題として捉えて進めていくという答弁をしました。

◇委員 統廃合ありきではないバスの運営とおっしゃっていましたが統廃合してもバスが出るから大丈夫だよ、安心してねってことになると思うんですが、どうしても学校を無くしたくないという方からの意見は少なからずあると思いますし、その人たちからの統廃合反対って声はあると思います。

◇委員 私も同意見で、まずは当面は子どもの登下校の負担を軽減するために三浦市としてこういう風な手立てを打ちますよっていうアピールのほうが三浦市としてはいいのかなと、あと加えてスクールバスじゃない方法もあるんだろうと、様々なアプローチで検討されていると思いますので、持続可能なものをお願いしていただければと思います。

検討が進んでいるというところは安心しました。

◇事務局 どうしても数パーセントの反対は間違いなくあると思っていますので、このあとの報告になる市民アンケートでもどんなに子どもが減っても統廃合するべきではないという意見も18%くらいありました。

◇委員 三崎地区の中学校統合の際の会議でそのときの京急さんの反応としては、あんまりいい反応ではなかったんですけど、京急以外の業者もあるんですか。

◇事務局 はい、あります。市内にもございますし、都内の事業者でバスのレンタルからドライバーの提供等をやりますというところがあります。

三浦市がバスを購入して使ってもらおうというような運用もできますし、色々な形態でやるという業者もいます。

◇委員 では、あてがあるということですね。

◇事務局 はい、そのとおりです。

◇委員 このスクールバスに関わっての質問で、保護者アンケートの結果から安全策というようなことでは書いてあるとおりでと思うんですけども、恐らく保護者の中には通学に関わる保護者の負担というところもあるんじゃないかと思います。その辺のところは事務局としてはどのように捉えていて、例えばこの後スクールバスに関わる部分では何らかを反映させることを考えているのかお聞かせいただけますか。

◇事務局 経済的な部分の負担をどうするかということについては、スクールバスと併せて費用負担をしていきますということは今の段階では言えない状況です。

ただし、スクールバスを走らせた場合に、こちらも回って欲しいとか、公共交通機関を使っている人たちは費用負担して欲しいとかそういう話はたくさん出てくると思っていますので、そこは適宜整理していきたいと考えております。

費用負担しないという話ではなく、声があれば検討していかねばならないと思っています。

◇委員 それは市議会の予算の中で組み込まれるということですか。

◇事務局 そうですね、費用負担や発生する費用等については、議会で予算の承認をもらうこととなります。

◇座長 その他よろしいでしょうか。

よろしければ、続きまして市民向けアンケートの集計結果について事務局より説明をお願いします。

◇事務局 それでは資料3を御覧ください。

こちらにつきましては、9月に実施した市民向けアンケートの単純集計結果になります。

まず、最初に配布数について見ていただきたくて、三崎地区が一番多く、大体同じくらいで南下浦地区、初声地区が随分少ないなと見受けられると思いますが、これは大人の数が反映されています。今回18歳以上を対象に無作為抽出で1,200名にお送りしたわけですけども、初声地区が一番少ないです。

割合的には1基本情報の②の回収率を見ていただくと分かりますけれども三地区とも30%台ということで、回収率が特別、初声地区が悪かったというわけではありませんので、そこはそういった目で見ただけだと思います。

少し古い資料ですけども、国勢調査の人口調査では18歳以上の大人の数は三崎地区が意外に多くて1万6、7千人、南下浦地区については1万3、4千人、初声地区に

については8、9千人くらいしかいないということがありますので、ここに初声地区の配布数265名という少ない数字が出ているのはそういったことによるものです。

それから、あともう一つ読み取れるのは年齢層で60歳～69歳で19%、70歳～79歳で32.6%、かなり高齢の方が回答してくれたなというところで、これは無作為抽出ですのでもう少し若い方の御意見も聞きたかったなというのは正直ありますけれども、全体としては33.4%の回収でしたので、目標としていた30%に届いておりますのでそれは達成できたかなと思っております。

1,200名にした理由が三浦市の人口を4万1千人で見たときに統計学上の一つの区切りとして95%以上の信頼性を得ることとあるんですけども、それを得るには384人の回答が必要ということで、その目標はクリアできたことは良かったかなと思っております。

それから、学校との関わりの2-①では圧倒的に学校に行っていない方がほとんどだということ想像どおりだったんですけども、学校に関わっていない方の回答が63%になります。

以降は学校に行った目的、学校の地域での役割、子ども達の学び場である学校が大切にするべきことという設問のあとに学校の規模についても市民向けアンケートでも確認しております。

3-②のところですけども、こちらについては1学年2学級以上クラス替えが出来る規模がよいとした方が約6割いらっしゃったということです。1学年1学級の単学級については13.3%、今回わからないという回答が約20%あったわけなんですけれども、1学年2学級以上が約6割いたという結果であります。

さらに③のほうで統廃合について聞いています。こちらについては1学年2学級以上の規模を維持するために統廃合をするべきだという考えが38.2%、子どもの数が少ない学校から統廃合すべきが23%合わせて約6割ということになります。

子どもが少なくなっても統廃合するべきではないという回答が18.2%、これも先ほど委員からも話がありましたがどうしても反対の方はいらっしゃるということです。

市民向けアンケートの説明は以上です。

◇座長 はい、ありがとうございました。説明が終わりました。

それでは御質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

◇座長 70歳と80歳は分けたんですね。

◇事務局 前回の最後の御意見の中でありましたので。

◇座長 43.9%という数字になりますもんね。衝撃ですね。

◇座長 御質問、御意見よろしいでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 では、市民向けアンケートの部分について事務局から事務連絡はありますか。

◇事務局 今日は単純集計の結果のお示しでしたので、これを見て何かを読み取るとか意見をするとするのは難しかったのかなと思います。今日に限らず何か気づいたことがあれば事務局に御連絡いただければと思います。

その後、この市民向けアンケートも資料2でお出ししました保護者向けアンケートと同様にまとめたかと考えております。最終的には、教職員、保護者、市民向けアンケート3つをまとめたかと考えております。11月の地域協議会で皆さんにお示しできればと考えております。

その後、11月に御意見をいただいた上で、最終的に学校教育ビジョンの見直しというところになりますので、それについては12月の段階では素案の段階かもしれませんが、お示しできればと考えておりますので引き続きお願いしたいと思います。

◇座長 ありがとうございます。御意見等は本日以降でもということ、それから11月に再度アンケートをまとめたものが示されるということ、12月年内の中で見直しの素案が示されていくという、どんどん進んでいくようなイメージがあるかと思うんですけども、皆さんよろしいでしょうか。

◇委員 最終のアンケート3本分をまとめて1本にするんですか。

◇事務局 3つのアンケートを総括した、アンケートの結果はこうでしたというものを教職員の考え、保護者の考え、市民の考えをまとめたかと思っております。

◇委員 まとめて3本を1つにしないでどうにかたちでまとめられるんですか。

◇事務局 総括した考察をお示しして、3つのアンケートの結果はこのような結果だった、市民の意見としてはこうではないかという

◇委員 ようするにバラバラに見るんじゃなくて、一度に見てわかるようなかたちにすることですよね。

◇事務局 はい、そうです。

◇委員 ほんとにそれはアンケートの結果が反映されるんですか。

◇事務局 させなければと思っています。

◇委員 例えば全然立場が違うわけですよね。ここで言うと一般市民と保護者の中で答えが違くと、まして学校に1年に1回も行っていない人がアンケートに回答していると

というような状態の中で、いわゆる全体の中にその大きなパーセンテージを占めるようなアンケートの方向性の中の意見が出せるのかそこらへんが立場が違うから、1つ1つをまとめるのはいいと思うんですけども、それを1つにまとめるのはどうなのかなど。

◇事務局 パーセンテージをまとめるとか、この設問については全体でこうでしたとか、という風にやるつもりはないです。

3つをまとめてこういう結果だった、これを総括すると今後こう進めていくべきであるという考察をお示ししたいということです。

◇委員 そこが難しいんじゃないかなど

◇委員 要するに教職員向け、保護者向け、一般市民向けのアンケートで同じような設問があったじゃないですか。1学年何クラスがよいとか、こう考えると、大体それを何割とかは示していけると思うんですよ。そういうのを統括した上で今後こういう風に進めたいっていうのにするんですよね。素案でまとめていくんですよね。

◇座長 共通点だったり、相違点だったりというのを分析して考察を施すという処理を11月に示されるということですね。

◇委員 要するに統廃合に向けた教育ビジョンの会議をしてさらに反対運動があつて見直しをしているんだから、前は一気に4校を1校にするっていうので始めたけれども、それを今見直して、段階的という話できているんだけれど。

◇委員 まだそこまで結論出ていないです。

◇委員 出ていないけどそういう風にいきたいっていう状況の中で今、動いているわけですね。見直しのためのアンケートを取ったんだから。

◇委員 いやそうじゃないですよ。それはあくまでも市民や立場の違う人たちがどういう考えでいるかというアンケートを取ったのであって、それで全体が統廃合賛成なら統廃合でいいだろうけれども、スタートの時っていうのは住民から反対の要望が出たわけですよ。

◇委員 それは分かっていますよ。

◇委員 ですから、そのときは統廃合ありきの進め方じゃなくて、統廃合がいいのかどうかというところで議論しましょうということでスタートしているんだから。

◇事務局 令和元年にお示しした教育ビジョンでは統廃合しますという計画でした。それについて考え直せというような意見を頂きまして、今回見直すということで進めてき

ました。その中でアンケート調査を丁寧に行い、市民の意見を聞いてから学校教育ビジョンを見直すということをしずっと申し上げてきております。その見直しにあたって3つのアンケートをやりましたので、これについてアンケートの結果はこうであったというのを示すべきと考えております。

◇委員 将来的には最初、令和7年度を目途にと言っていたものが1回見直しになって、今は7年度に拘らずっていうことになっていますよね。でも将来的には三浦市の方向性としては統廃合せざるを得ない状況だよっていうための事前の委員会ですよね。絶対にしないとか、するとかいう話ではないでしょ。

◇事務局 統廃合する、しないは今の段階じゃ当然言えないです。

◇委員 言えない段階だけれども、したときにどうするべきかというのをこうやって話しているわけですよね。今までは一括してというものが、それだとしていうことで例えば、4校から2校にするっていう話を含めての話ですよね。

なんか言ってることが、なんかしないよってという言い方で一方的に来ちゃったような感じだったので。

◇委員 だからそれは教育委員会としては統廃合したいというのは最初から言われているわけですよ。ただし、この協議会が開かれているのはそれがいいのかどうかという議論をする場なんですよ。

◇委員 それは分かっていますよ。

◇委員 だからそういう意味で言うと統廃合するということが前提になっていて何年後でもね。今の状態では結論が出ていないわけだから、統廃合するとかたちで話をもっていくとかたちはまずいと。またこれから発表することによってもっと大きな反対運動が起こるかもしれないし、だから市民の意見をちゃんと聞いて、吸い上げてということでこのアンケートがスタートしたじゃないですか。

◇委員 だからその結果をもってこういう風に進めますという話じゃないんですか。今後、私達が関わらなくなっても例えば議会で話すとか、教育委員会がもう議会におおすとか、私達はそのまで決める権限はなくて、最初から言っているのは委員として選ばれてこうやってきて話をして、住民、保護者、地区の代表だったりするわけじゃないですか、そういう様々な意見が出たものを教育委員会がまとめてここから先は教育委員会と議会とやっていくという話でしたよね。

◇事務局 最終的にはそうです。

◇委員　だからここはあくまでもこういう風にしたらいんじゃないかと意見を出す場であって、決定機関じゃないじゃないですか。

◇事務局　今回のアンケートの考察をお示しして、学校教育ビジョンはこういう風に見直すほうがいいと思うという案をここで皆さんにお示しをして、それがいいねという全会一致が一番いいと思っていますけれども、そういうお話をいただいてそういう風に進んでいこうとこちらとして決心した。だから御意見を頂く場にします。

◇委員　それは分かっています。

◇事務局　だから、今回はアンケートをやりました。その結果をもって教育委員会としてはこう考えましたというのを次にやりますので、それに対して御意見を頂きたい。事務局としては、一定度の学校規模は必要だと思っているのは変わらないです。

◇座長　いずれにしてもアンケートを取ってアンケートの結果を前回、今回という風なカタチで報告して、保護者アンケート、市民アンケートの分析がこのあと出てきてしかるべきですから、それが出てくるスケジュールが次回の11月ですというのが今の段階で我々が分かっているところですね。

◇委員　12月までは関わるということですよ。

◇座長　12月の段階でビジョンの粗々の見直し案を示す方向で動くということですね。そういう理解でよろしいですか。

◇委員　皆さん忙しい中こうやって集まっているのだから、またダメになるとかまた一からやり直すとかではなく、ここでの意見も大切だし、教職員、保護者、市民から取ったアンケートの結果も反映されて教育ビジョンというのはこういうカタチで動いていくんだという認識ではいたいんです。だからここでまた、なんだかんだあったらまたやり直しになるのはあれなんで。

◇座長　我々の意見も反映して組み上げたものを作っていただくということで、我々も協力しながらぜひ前に進めたいと思います。ぜひ御協力をお願いします。

◇委員　確認したいんですけれども、市民の声をもっと多くの人の意見を聞くべきだっことに立ち返って、今回時間をかけて中身を私達で議論をして、教職員、保護者、そして市民というところの3つのカテゴリーの中で聞いたわけですよ。その際にはどういかに聞くべきかというのも意見交流もしましたよね。ですのでこの議論をもって地域協議会としては今回の3つのアンケートは三浦市の総意であるというような確認をしたいと思うんですけれども、皆さんいかがでしょうか。このアンケートの結果が無下に

なるような、アンケートでは総意は取れていないということであれば、それこそ地域協議会の意味はなくなってしまいます。

◇座長 先程、事務局からあった統計的にみて有効であるという意味でも、3つのアンケート結果は三浦市の総意として、意見が反映されているものだとということで御異議ございませんか。

(異議なし)

◇座長 皆さんよろしいでしょうか。

ありがとうございます。皆さんよろしく願いいたします。

それでは、他になければ以上で三崎地区・南下浦地区合同の令和4年度第3回三浦市学校教育ビジョン地域協議会を閉会いたします。

お忙しい中、お疲れのところ御出席いただきありがとうございました。また、次回もよろしくお願いいたします。

◇ 19時41分 閉会 ◇
